



彗星

今貂子舞踏公演

Ina Tenko Butoh Performance 'COMET'
慶應義塾大学 2025年度新入生歓迎行事

2025年5月21日(水)

[18時00分開演・17時30分開場]

慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎イベントテラス

横浜市港北区日吉4-1-1
東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線・
横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車

Keio University Hiyoshi Campus, Raiosha
4-1-1, Hiyoshi, Kohoku-ku, Yokohama-shi
Access from Hiyoshi Station (Tokyu Toyoko Line /
Tokyu Meguro Line / Tokyu Shin-yokohama Line /
Yokohama Municipal Subway Green Line)



入場無料
Admission Free

*席に限りがありますので、
あらかじめご了承ください。

—— 煌々と光りを放ち、焰のような尾を引いてやってくる彗星。
舞踏に出会った時、まるで彗星のようだった。
飛びのる。勢いよく遊泳する彗星の尻尾を掴み、宇宙を一周。
時が満ちる。再び彗星がやってくる。
源泉から汲出した創造力と、未来を予祝する想像力を地上へと運んで——

慶應義塾大学 2025年度新入生歓迎行事

Ima Tenko Butoh Performance "COMET"

今 貂子 舞踏公演

彗星



今 貂子 [舞踏家、振付家]

1980年-1994年、白虎社に参加。2000年、ワークショップを母胎に舞踏カンパニー 倚羅座結成。2007年-2016年、五條會館にて連続公演。2016年-2020年、KYOTO 舞踏館「秘色」ロングラン公演。2019年、還暦記念「闇の艶」(先斗町歌舞練場)。2020年「金剛石-Diamond-」(UrBANGUILD)にて、令和2年度文化庁芸術祭 優秀賞受賞。これに続き、2021年「愛ノ嵐」(UrBANGUILD)、2022年「彗星」(UrBANGUILD)を発表、「金剛石-Diamond-」「愛ノ嵐」「彗星」をコロナ三部作として結実させた。日本の芸能の源流にみられる「たまふり(命の活性化)の力」に支えられたアバンギャルドな舞踏の探求を通じ、独自の境地を開拓。京都を拠点に国際的に活動を行う。2023年慶應義塾高等学校にてワークショップを実施した。

ryotaro [midi-accordion]

エレクトロニクスを融合したアコーディオン弾き。ダンサー、パフォーマーとの数多くの共演を展開。ヨーロッパを中心に海外でのライブ活動も精力的に行う。

作・舞踏：今 貂子

音楽作曲・演奏：ryotaro (midi-accordion)

音響・照明：曾我 傑

Choreography & Butoh：Ima Tenko

Music Composition & Performance：ryotaro (midi-accordion)

Sound & Lighting：Soga Masaru

主 催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)

慶應義塾大学アート・センター

協 力：慶應義塾高等学校・ポर्टフォリオBUTOH

コーディネーター：小菅隼人

フライヤー写真撮影：飯名尚人・三村博史

問合せ：慶應義塾大学アート・センター 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 Tel：03-5427-1621

Contact：Keio University Art Center Tel：03-5427-1621 Email：hy-happ@adst.keio.ac.jp

本事業は2025年度科学研究費「動きのアーカイヴ」における実証的研究——アーカイヴの創造的利用における国際連携の助成をうけています。